

令和7年度 第2回四国中央市水道事業経営審議会要旨

日 時 令和7年10月7日（火） 14時00分～
場 所 水道局庁舎 2階 会議室
出席委員 津久井正明、尾崎和子、川上みどり、続木一雄、尾藤多恵子、真鍋伸二、森
実恵子、藪谷智規
事 務 局 宮下 浩、鈴木敏弘、高橋育夫、堀川泰基、松本圭司、山川信太郎、井上幸
一、篠原昌喜、白木良文
傍 聴 者 0名

1. 水道局長あいさつ

2. 会長あいさつ

3. 議事

議事1 水道事業ビジョンの中間見直しについて

○事務局より説明

○質疑

（委 員）人口が減ってくると水道経営の厳しい状況が分かります。

（委 員）今年度の建設改良事業の進捗率が低いように思えます。

（事務局）事業費などの高騰により若干遅れています。今後、フォローアップを適切に行い事業を進めていきたい。

議事2 水道料金改定について

○事務局より説明

○質疑

（委 員）水道料金の市内統一までを値上げ改定するということでよいのか？

（事務局）そうです、赤字に転落する令和11年度か12年度までの改定案3つを示しております。

1案は8年度と11年度の2回で料金を値上げ

2案は8年度から11年度で毎年値上げ

3案は8年度から12年度で毎年値上げ

（委 員）赤字になったらどうなりますか？

（事務局）すぐに潰れるということはありません、現在は手持ち資金がありますが、赤字になればこれを赤字に補填することとなり、将来的な事業の継続が困難な状況になります。

（委 員）値上げの住民周知はどのようにしますか？

（事務局）ホームページやチラシを以って行いたいと思います。

（委 員）私は1案を押します。

2段階で料金値上げするので毎年料金を上げるよりは苦情が出にくいのではないかと思います。

- (委 員) 人口減少や物価の上昇もあって、早めに料金改定をするべきではないか。
- (委 員) 説明から 2 案が収益的にいいのかなと受け止めました。
- (委 員) 1 年でも早く料金改定すべきではないか、2 案がよい。
- (委 員) 1 案がいいと思います。
- (委 員) 2 案がいいと思います。
- (委 員) 1 案の方が説明しやすいのではないかと思います。
- (委 員) 毎年値上げする 2 案よりも 1 案の方がよいのではと思います。収支でいうと 2 案の方が改善されやすいのでしょうか？
- (事務局) そうです、毎年上がる方が収支の改善がされます。
- (委 員) 意見分かれてましたが、みなさんの意見を聞いたところで、多数決を取ります。・・・第 2 案、第 1 案の順で多数となった。
- (委 員) 令和 11 年度に市内料金統一という点ではみなさんよろしいですね。
- (委 員) その辺りを踏まえもう一度、多数決を取りたいと思います。
・・・第 2 案となった。
- (委 員) では、次回の審議会では第 2 案を答申案とすることについて更に審議したいと思います。

閉会